

平成29年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年12月8日

上場会社名 株式会社鎌倉新書 上場取引所 東
 コード番号 6184 URL <http://www.kamakura-net.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)清水 祐孝
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理部長 (氏名)須藤 諭史 (TEL)03(6262)3521
 四半期報告書提出予定日 平成28年12月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年1月期第3四半期の業績(平成28年2月1日～平成28年10月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年1月期第3四半期	988	17.8	254	54.0	250	58.0	157	66.4
28年1月期第3四半期	839	—	165	—	158	—	94	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年1月期第3四半期	19.47	18.67
28年1月期第3四半期	13.28	—

(注) 1. 当社は、平成27年1月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成28年1月期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 当社は平成28年10月1日付にて1株を4株にする株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益は、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年1月期第3四半期	1,112	853	76.7
28年1月期	868	623	71.7

(参考) 自己資本 29年1月期第3四半期 853百万円 28年1月期 623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年1月期	—	0.00	—	—	—
29年1月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年1月期の業績予想(平成28年2月1日～平成29年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,315	14.6	320	41.8	315	49.2	190	51.1	23.69

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は平成28年10月1日付にて1株を4株にする株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益は、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無
- (3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年1月期3Q	8,394,400株	28年1月期	8,020,000株
② 期末自己株式数	29年1月期3Q	一株	28年1月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年1月期3Q	8,079,056株	28年1月期3Q	7,120,000株

(注) 当社は平成28年10月1日付にて1株を4株にする株式分割を行っております。期末発行済株式数及び期中平均株式数は、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は金融商品取引法に基づく監査手続きの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についてもその確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善など緩やかな回復基調が続いたものの、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動への警戒から、個人消費や物価上昇ペースが鈍化し、株価・為替も不安定な推移をたどるなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社が属するライフエンディング市場におきましては、潜在的需要は人口動態を背景に年々増加すると推測され、「終活」の浸透が進み、ライフエンディングに対する社会的関心は日増しに高まりを見せております。しかし、社会の変化に伴いユーザーの価値観やニーズも変化しつつあり、各サービス形態の変化が徐々に顕在化しております。仏壇仏具やお墓等におきましては、ユーザーの節約志向に加え、生活スタイルや価値観の変化による購入商品の小型化・低価格化が継続しております。

このような事業環境の中、当社は相談窓口としてコールセンターの充実などに継続して努めていくとともに、運営サイトをよりユーザビリティの高いものへと改良を重ねることや、ユーザーの満足度を向上させるために相談会やセミナーを実施するなど、数多くの施策を行って参りました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は、988,659千円（前年同四半期比17.8%増）、営業利益は254,097千円（前年同四半期比54.0%増）、経常利益は250,346千円（前年同四半期比58.0%増）、四半期純利益は157,322千円（前年同四半期比66.4%増）となりました。

なお、当社はライフエンディングサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は1,112,580千円（前事業年度末比243,744千円増）となりました。主な要因は、利益剰余金の増加(同157,322千円増)であります。

(流動資産)

当第3四半期会計期間末の流動資産は969,564千円（前事業年度末比140,509千円増）となりました。主な要因は、現金及び預金の増加(同89,606千円増)、売掛金の増加(同55,128千円増)であります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末の固定資産は143,015千円（前事業年度末比103,234千円増）となりました。主な要因は建物の増加(同42,459千円増)、工具器具備品の増加(同28,928千円増)、敷金及び保証金の増加(同15,598千円増)であります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末の流動負債は231,771千円（前事業年度末比18,532千円増）となりました。主な要因は、未払金の増加(同52,259千円増)、未払法人税等の減少(同24,681千円減)、未払消費税等の減少(同16,565千円減)であります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末の固定負債は27,289千円（前事業年度末比5,119千円減）となりました。主な要因は、長期借入金の減少(同5,000千円減)であります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は853,520千円（前事業年度末比230,330千円増）となりました。主な要因は、四半期純利益計上に伴う利益剰余金の増加(同157,322千円増)、新株予約権の権利行使による増資により資本金が増加(同36,504千円増)、並びに資本剰余金が増加(同36,504千円増)したことあります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年1月期の業績予想については、平成28年3月10日に公表しました予想から変更ありません。

なお上記予想は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予測数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年1月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	604,325	693,932
受取手形	1,716	-
売掛金	196,671	251,799
製品	6,760	7,367
仕掛品	1,537	1,906
貯蔵品	163	255
前払費用	9,339	6,726
繰延税金資産	10,889	9,889
その他	468	998
貸倒引当金	△2,819	△3,311
流動資産合計	829,054	969,564
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,549	44,008
工具、器具及び備品	1,135	30,063
有形固定資産合計	2,685	74,071
無形固定資産		
ソフトウェア	8,489	13,503
その他	202	202
無形固定資産合計	8,692	13,705
投資その他の資産		
繰延税金資産	4,998	4,077
敷金及び保証金	21,864	37,463
保険積立金	-	12,156
その他	1,540	1,540
投資その他の資産合計	28,403	55,238
固定資産合計	39,781	143,015
資産合計	868,835	1,112,580

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年1月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,091	6,260
1年内返済予定の長期借入金	10,000	10,000
未払金	42,782	95,042
未払費用	49	170
未払法人税等	85,839	61,157
未払消費税等	31,183	14,617
前受金	8,467	7,119
預り金	11,660	5,398
賞与引当金	15,162	32,004
流動負債合計	213,238	231,771
固定負債		
長期借入金	25,000	20,000
退職給付引当金	7,408	7,289
固定負債合計	32,408	27,289
負債合計	245,646	259,060
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,700	250,204
資本剰余金		
資本準備金	173,700	210,204
資本剰余金合計	173,700	210,204
利益剰余金		
その他利益剰余金	235,789	393,112
繰越利益剰余金	235,789	393,112
利益剰余金合計	235,789	393,112
株主資本合計	623,189	853,520
純資産合計	623,189	853,520
負債純資産合計	868,835	1,112,580

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間(自平成27年2月1日 10月31日)	平当第3四半期累計期間(自平成27年成28年2月1日 10月31日)
売上高	839,112	988,659
売上原価	403,805	392,642
売上総利益	435,306	596,016
販売費及び一般管理費	270,272	341,919
営業利益	165,033	254,097
営業外収益		
受取利息	65	44
為替差益	521	-
その他	340	306
営業外収益合計	927	350
営業外費用		
支払利息	1,535	368
為替差損	-	3,196
株式公開費用	3,536	-
株式交付費	1,477	-
和解金	1,000	-
その他	10	536
営業外費用合計	7,558	4,101
経常利益	158,402	250,346
税引前四半期純利益	158,402	250,346
法人税、住民税及び事業税	66,995	91,102
法人税等調整額	△3,136	1,921
法人税等合計	63,859	93,024
四半期純利益	94,542	157,322

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、ライフエンディングサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。